

暖かい地域でも、気温が0℃以下になると給水・給湯配管の凍結によりお湯が出なく

なることがあります。

機器や配管内の水が凍結して破損が起こる可能性がありますので、低温注意報が発令されたときや、冷え込みが厳しいときはお手持ちの機器取扱説明書をご覧ください、処置をしてください。

機器が凍結する温度に近くなると、凍結予防ヒーターや循環ポンプの作動などで凍結予防するため、電源プラグを抜かないでください。

給湯器「凍結予防方法」

※機種により方法が異なります。詳しくは、お手持ちの機器取り扱い説明書をご覧ください。

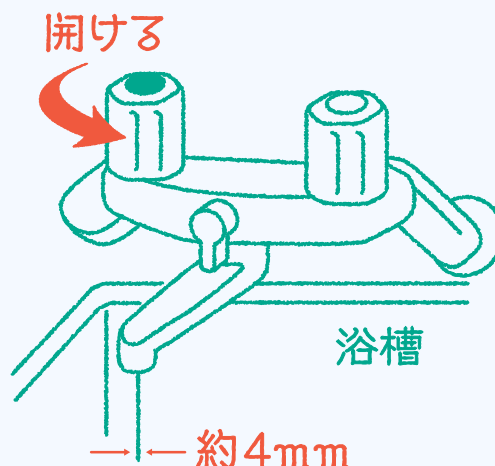
1 給湯栓の場合（給水・給湯配管などの凍結予防もできます）

- ①リモコンの運転スイッチを『切』にします。
- ②浴槽に排水栓をしてからおふろの給湯栓を開け、1分間に約400mlの水を浴槽に流しておいてください。

※この場合、浴槽から水があふれることがあります。
※サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。
※浴槽の近くに給湯栓がない場合は、シャワーホースを浴槽まで伸ばしてシャワー栓を開けてください。
※シャワーから水を流す場合、シャワーヘッドは浴槽にたまった水につからない位置に置いてください。

【ご注意】

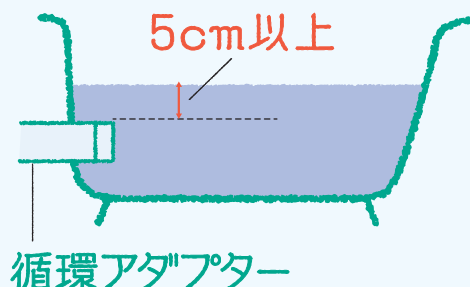
※水量が不安定なことがあります。念のため、30分ぐらい後にもう一度水量をご確認ください。
※サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。



2 追いだき機能付きふろがまの場合

浴槽の水を循環アダプター上部より5cm以上ある状態にしてください。

※ポンプが自動的に浴槽の水を循環させて、凍結を予防します。(ポンプが運転する音(ウーンという音)がします)
※水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。



3 凍結してしまったら

- ・外気温が上がり自然に解凍するまでお待ちください。
- ・給湯機器や配管を温めるために熱湯をかけるのはお止めください。機器や配管が破裂する恐れがあります。